

自店も苦しいが……

拡がる卸・生産者支援の輪

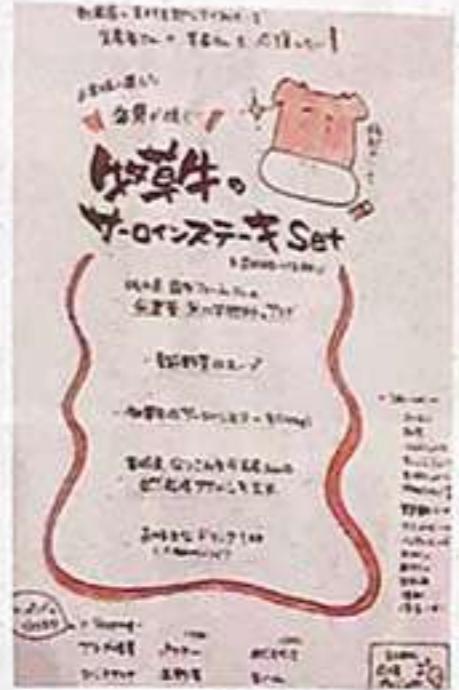
首都圏一都三県を歩き、緊急事態宣言エリアがソワジクと拡がっている。昨年から少く営業時間短縮要請がさらに厳しく20時まで（アルコール提供19時まで）となり、しまいには西村康稔・新型コロナ対策担当相が「ランチの自粛」と、声高に飲食店を顧客にする発言まで飛び出し、一気に外食市場は冷え込んでいる。そんな厳しい状況にもかかわらず、「我々かなり厳しいが、中小飲食店にはわずかとはいえる協力金が出る。しかし、生産者などの取引業者さんは我々以上に厳しい。できることをしたい」と、生産者支援に動く飲食店の輪が広がりつつある。

「苦しい経営環境では、なので売上も激減。今日も東京・豊洲市場に行つてきたがガラガラ。その現状を見て、僕らに何かできないかと考えた……」

東京・中目黒を中心とした国内グループ18店舗を展開するMUGENグル



新MUGENと取引のある豊洲の仲卸「山治」の山崎 康弘社長が協力金を放棄して20時以降も営業し、来店客に「お土産」を無料進呈した



新宿店では、割安の食べ方放題コース一本に絞り消費者還元・生産者支援を実施。MUGEN内山社長と仲がよく東京・三軒茶屋で「BBQ Toppo」を運営する舟木雅彦さんも内山さんの行動に刺激を受け、生産者支

援企画を実施

新宿店では、割安の食べ方放題コース一本に絞り消費

者還元・生産者支援を実施。MUGEN内山社長と仲が

よく東京・三軒茶屋で「BBQ Toppo」を運営する

舟木雅彦さんも内山さんの行動に刺激を受け、生産者支

援企画を実施

新宿店では、割安の食べ方放題コース一本に絞り消費

者還元・生産者支援を実施。MUGEN内山社長と仲が

</